

4-5) 脳波計の内部雑音とは

雑音(脳波計の内部雑音)は、JIST1203では「1~60Hzの3 μ Vp-pを超える雑音が1秒当たり1回を超えてはならない。」と定義されています。つまり、交流雑音のような連続的に混入する雑音だけではなく、突発的な雑音についても対象となります。具体的な内部雑音の測定方法としては、脳波計のフィルターを時定数0.3秒(0.53Hz)、高周波数遮断フィルター(ハイカットフィルター)を60Hzに設定し、電極入力端子を短絡し測定します。電極端子を短絡させる方法として、①生理食塩水に浸す方法、②ペースト内に全電極を練り込む方法、③ダミー電極抵抗を使用する方法、④全入力ショート治具(すべての端子がショートされた専用の集中コネクタ:メーカーが持っている)などの方法があります。①、②は手軽にできるので試して下さい。

